

# 議員全員協議会 6月20日

## 三原市の財政は大丈夫？

【概要】今後5年間の財政計画について説明があった。

**問** 毎年のことながら、歳出が歳入を上回る赤字の財政計画でよいのか。民間では考えられない。

**答** 財政調整基金からの繰入れが赤字補填となる。この赤字への対処としてどうしていくかが大事。

**問** 住宅メーカーによる調査で本市住民の満足度は低い、改善の思いが財政計画に込められているか。

**答** 市民の皆さんの期待に応えるために頑張っているが、財源は限られる。現実には根差した夢を市民の皆さんとともに実現していきたい。

## 駅周辺の活性化は進んでいるの？

【概要】国の支援を受け



本町通り(西国街道)の将来イメージ

るため、来年度から5年間の第2期中心市街地活性化基本計画の策定について説明があった。

**問** これまでの5年間、大型事業にも取り組まれてきたが、全く効果が出ていないのではないのか。

**答** 今後は商店街の魅力向上にも取り組み、ソフト面も充実させていく。

**問** 本町地区の西国街道整備に13億円を投資予定だが、どう変わるのか。市民や議員に対してもっと情報提供すべきでないか。

**答** 本町通りを中心に歴史的建築物と調和したまちなみを整備する考えだ。経済建設委員会で説明させていただいていく。

**問** 本町では古い商店が次々に解体され駐車場になっている。大丈夫か。

**答** 解体の規制はできないが、建物の修景工事に対する補助制度を設け、保存対策としている。残った歴史的建築物と調和したまちなみづくりにより住みやすい本町をめざす。

**問** 本町では古い商店が次々に解体され駐車場になっている。大丈夫か。

**答** 解体の規制はできないが、建物の修景工事に対する補助制度を設け、保存対策としている。残った歴史的建築物と調和したまちなみづくりにより住みやすい本町をめざす。

**問** 本町では古い商店が次々に解体され駐車場になっている。大丈夫か。

**答** 解体の規制はできないが、建物の修景工事に対する補助制度を設け、保存対策としている。残った歴史的建築物と調和したまちなみづくりにより住みやすい本町をめざす。

## 水道統合※の有効性は？

【概要】冒頭、市長が水道統合による企業団に参画することを表明。続いて統合の有効性について説明があった。

**問** 本市から選出される企業団協議会議員が1人なのは不公平ではないか。広域災害の応援依頼も単

独経営の方が確実に早い。統合は百害あって一利無しではないか。

**答** 準備協議会で協議を行い、給水人口10万人未満の自治体は議員1人としているため不公平とはいえない。災害時には企業団に参画する他の事業体からも応援を受けられるなど迅速な対応ができるメリットがある。

**問** 市民が緩速ろ過の美味い水を希望してもその声は届かなくなる。10年後の姿も有効性ばかり強調され、デメリットについて明確な回答がないのは問題ではないか。

**答** 西野浄水場の緩速ろ過をなくすという検討はしていない。全国的にも水源水質の悪化などから急速ろ過が増えているのが現実だ。県の宮浦浄水場が西野浄水場に移転する際には急速ろ過を整備し、緩速ろ過の西野浄水場と施設統合することで緊急時の水運用が可能となり有効性はある。

**問** 財政的に有効なのは当然だが、参画が悪くなるような説明は、違和感がある。検討

の経緯は市民に届いていない。もっと誠実に説明すべきではないか。

**答** 今後も広報紙やホームページで発信し、意見を伺いながら丁寧な説明に努める。

**問** 経済性だけでなく、安全性や料金値上げについての市民の切実な声をどう届けていくつもりか。

**答** 毎年度、事業内容については市議会や市民へ事前に説明し、議員や市

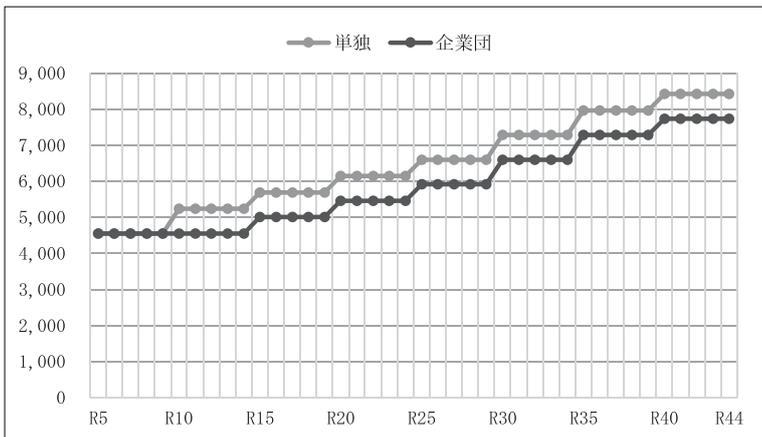
民の声をしっかりと企業団に届ける。

### ※水道統合とは：

令和2年6月、県が策定した「広島県水道広域連携推進方針」に基づき、県内水道事業の統合について協議を開始した。令和3年4月、県と15市町により「広島県水道企業団設立準備協議会」を設立。現在、不参画を表明した安芸太田町を除く14市町と県により令和4年11月の企業団設立、令和5年度からの事業開始をめざし、協議を進めている。

【水道料金の推移】(単独経営と企業団経営の比較)

(シミュレーションモデル) 世帯人数3~4人・メーター口径20mm・1ヶ月使用水量20㎥



(注意) 事業計画素案の値による推移であるため、今後策定される事業計画により変動する可能性がある